



【嘉代子桜の話】

嘉代子桜は植えられてから今年で何年目でしょうか？嘉代子桜は、戦争が終わって4年後の1949年に植えられたので、今年でちょうど74年目になります。桜の木の寿命は50年と言われていいますので、大変長生きをしていることになります。この長い間、嘉代子桜は、白アリの被害にあったり、台風で枝や幹が折れたりしました。そのたびに、たくさんの人たちが嘉代子桜を守ろうと治療をしたり、このように支えの棒をつけたりしました。

また、折れた幹は何に生まれ変わったか知っていますか？実は、折れた幹は、平和祈念館の看板になっています。では、なぜこのようにたくさんの人たちが嘉代子桜を守ろうとするのでしょうか。それは、桜を植えた嘉代子さんのお母さん、林つえさんの嘉代子さんへの想いや、戦争や原子爆弾で亡くなった人々への想い、そしてなにより「平和の大切さを伝えてほしい」という強い想いを受けとり、嘉代子桜を守ろう。平和の大切さを伝えていこうとたくさんの人たちが感じたからでしょう。

さて、みなさんは、嘉代子桜2世を育てているのを知っていますか？いくら大切にしているても、嘉代子桜の命は、いつか消えてしまいます。だから、2世をしっかり育てていきましょう。今度の春も嘉代子桜はきっときれいな花を咲かせてくれると思います。皆さんも平和の大切さをたくさんの人に伝えてください。

【世界中の子供たちが仲良くするためには（1年間のまとめ）】

今年度最初の4月の平和祈念式の時に、「「平和は城山から」と城山小学校から平和を発信していくには、みなさんが友達と仲良く生活する姿を行動として見せることが何よりも大切だ」と、校長先生はお話しました。みなさんが、友達と仲良く生活する姿から、世界中の子供たちが仲良くすることにつながれば、平和な世界をつくることにつながっていくと思いませんか。そのためには、どうしたらいいのでしょうか。なかなか難しいね。

じゃんけんゲームをして、3回目に全員が同じものを出してあいこになったら座るゲームをするとなかなかうまくいかないね。でも、グループのみんなで「3回目に同じものを出す」というめあてに向かって、どうしたらいいのかを相談して、出すものを決めて、グループのみんながそれを守るとうまくいくよ。

友達と仲良くする、世界中の子供たちが仲良くするためには、互いの考えを聞いて、相談をしてどうするかを決めること、そして、決まったことは守って行動すること、が大切なんだね。また、言葉が違って、身振り手振りや、絵をかいたり、タブレットを使ったりして、考えを伝えようとするのと、それをわかろうとすることで、仲良くすることにつながっていくんだね。

今日、みんなでじゃんけんゲームをしてわかったことを、いつも忘れないでください。「Peace 飛び交う、楽しい学校」から、世界の人々となつながら、平和な世の中に向かうことができるような、みなさんの毎日の取組を期待しています。